

Leica
BRONICA-TTL

**Exposure
meter**

使用說明書





目 次

特 徴	2
各部の名称	3 ~ 4
露出計本体の名称	5
連動ブロックの名称	6
カメラへの装着方法	7
シャッターダイヤル連動部の着脱	8
電池・接続コードの取付け	9
露出の測定方法	10
絞り値優先の場合の測光	11
シャッタースピード優先の場合の測光	12
逆入射光補償回路の使用法	13
電池のチェックと交換	14

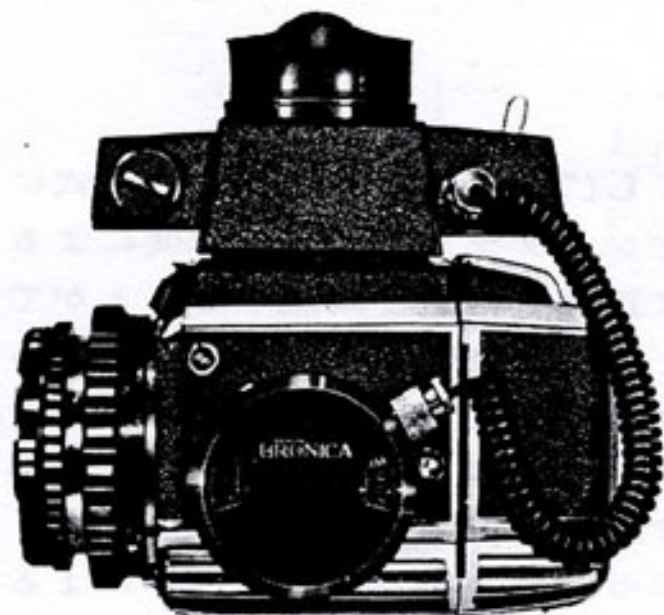
特 徴

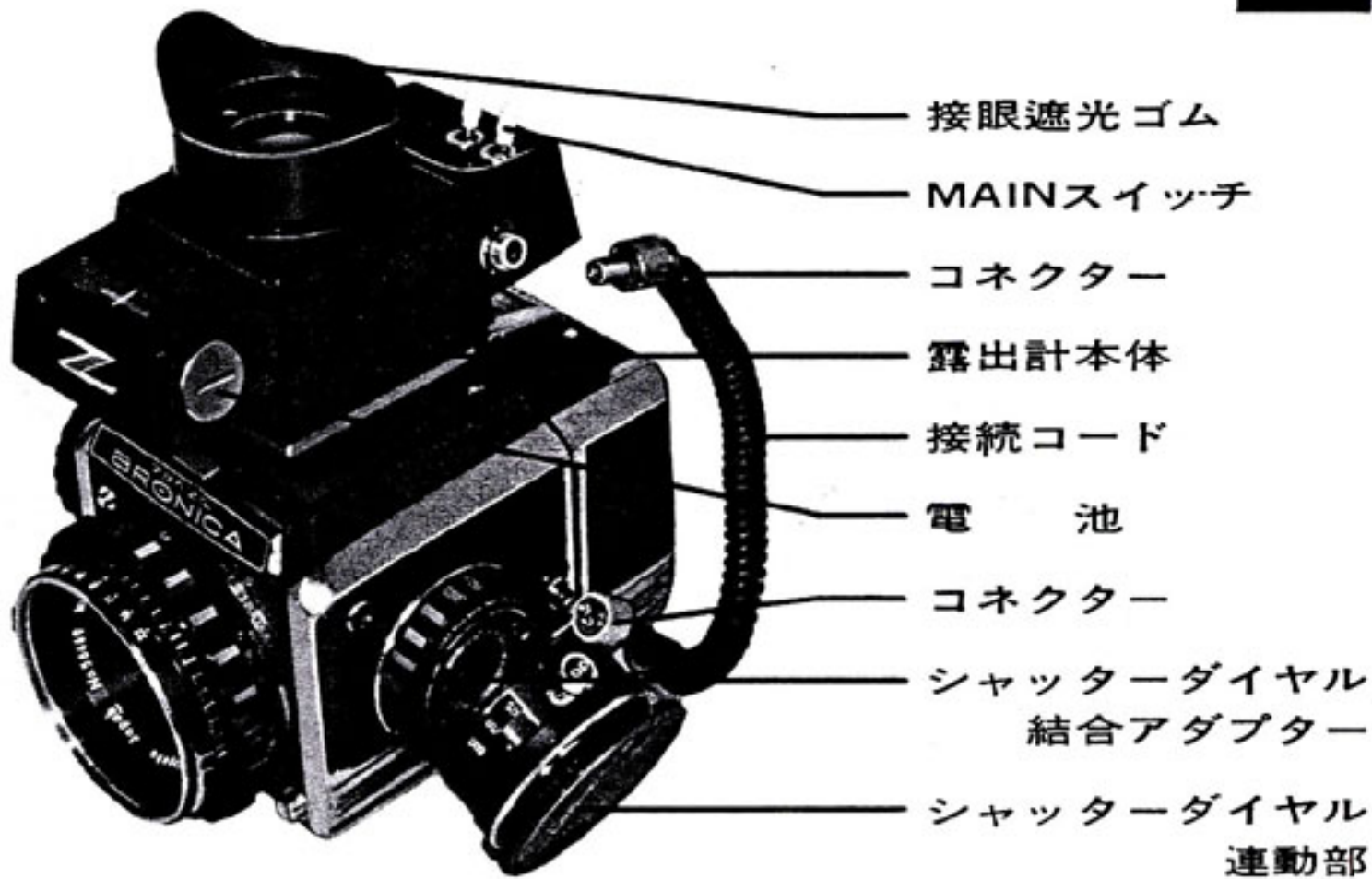
この露出計はセンザプロニカ専用のTTL(Through the Lens)方式によるCdS露出計です。特に露出の決定はビントガラス面の平均輝度による測光を行い、どの様な撮影条件にも対応して正確な露出を測定することができます。又、他の露出計にない新しい装置として、接眼部より逆に侵入する光線に対し、補償調整する回路を備えています。使用上の利点はシャッター優先、又はF値優先の、どちらでも測光でき、指針はビントガラス面と外部の両方にあり、ゼロメソッドとなっています。

センザプロニカの豊富な交換レンズや、ベローズアタッチメント等による撮影には、無類の正確な露出を測定し、カラー撮影には抜群の威力を発揮します。

各部の名称

- ① 測光用CdS 4ヶ
- ② 逆入射光補償CdS 2ヶ
- ③ メーター
- ④ スイッチ





接眼遮光ゴム

MAINスイッチ

コネクター

露出計本体

接続コード

電池

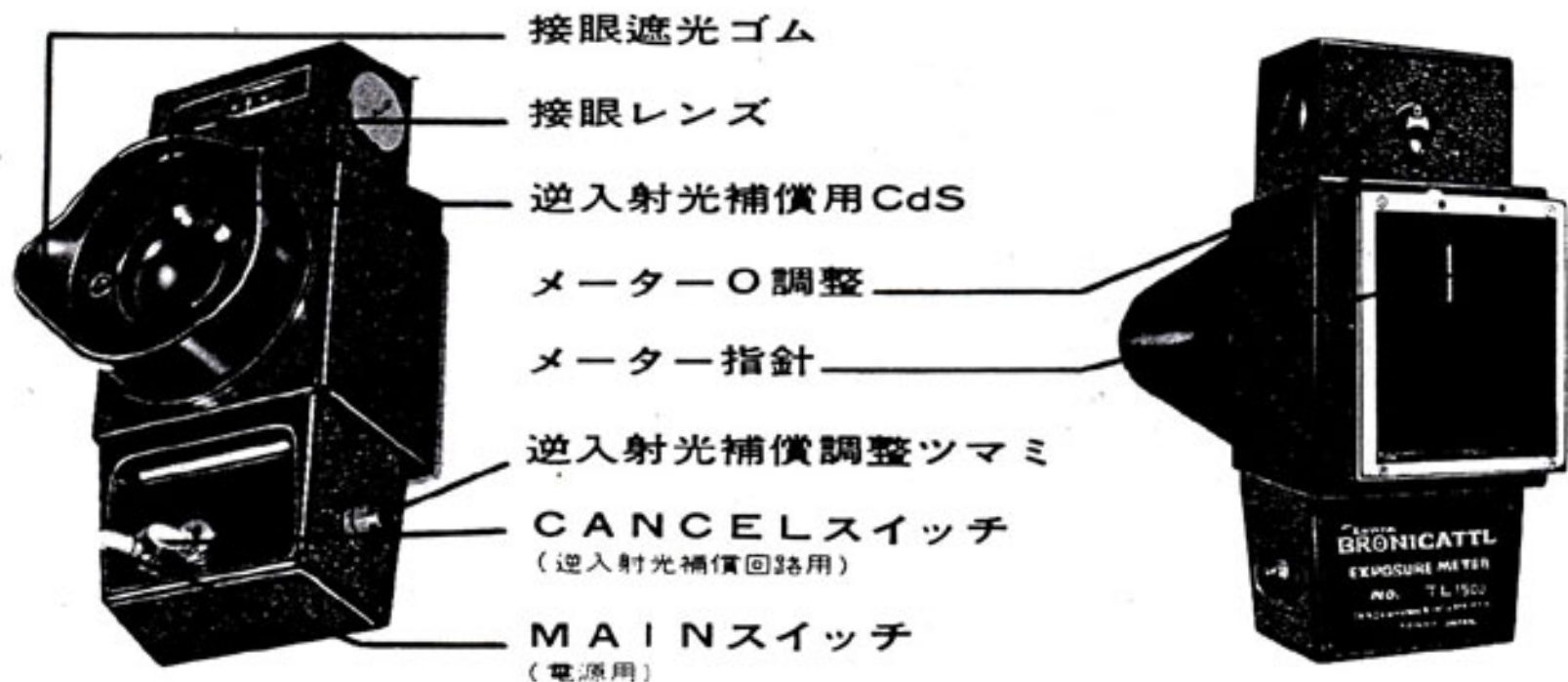
コネクター

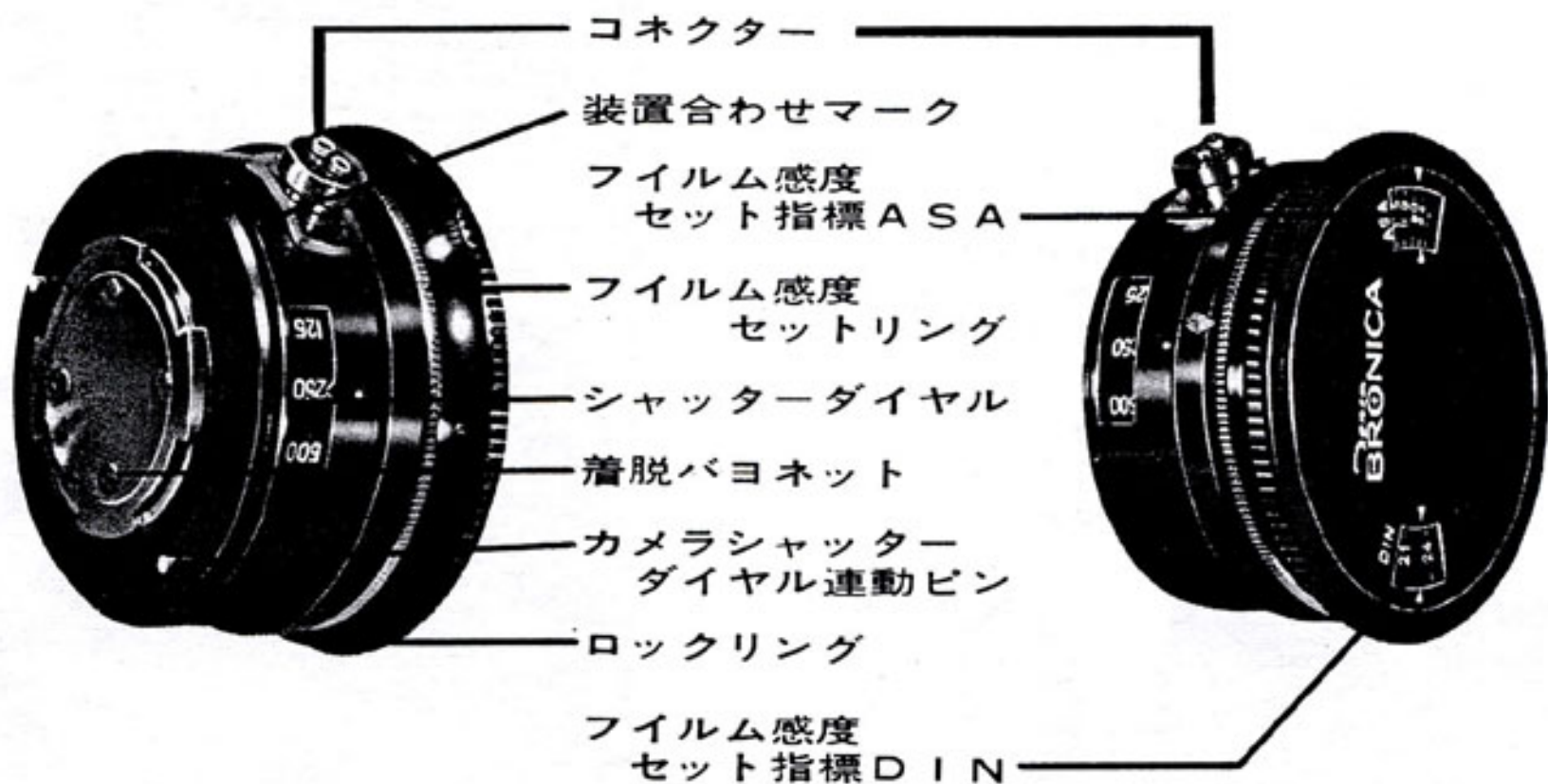
シャッターダイヤル
結合アダプター

シャッターダイヤル
連動部

露出計本体の名称

メーター0調整は調整
ずみですから さわら
ない様にご注意下さい





カメラへの装着方法

- ① カメラへ露出計本体の取付けはピントフードの着脱と同じ要領で行います

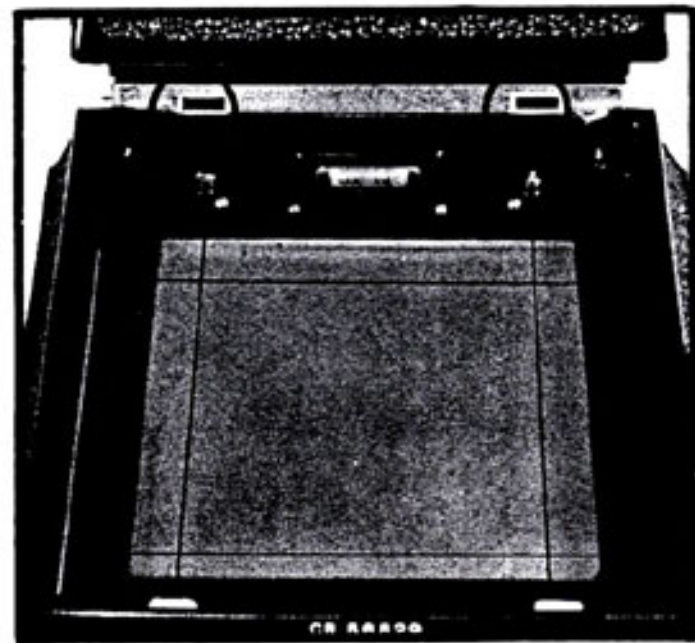
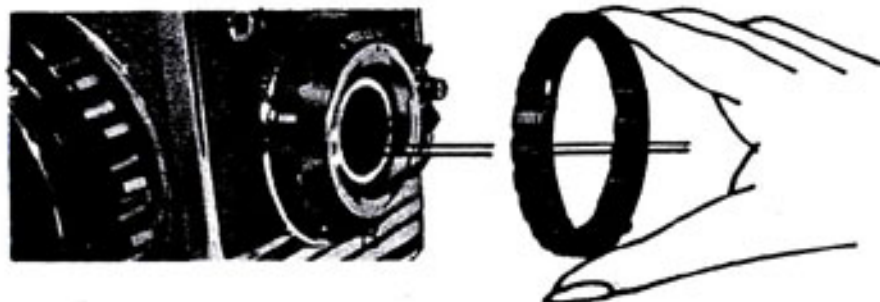
〈着脱方法〉

(A)カメラボディのネームプレート上部にあるピントフード着脱ロックを上押し上げると簡単にはずれます

(B)取付ける場合は 露出計本体枠の後部にある二つの穴にピントガラス面の後部の爪を合わせて 露出計本体をカメラに押しつけるとロックがかかり固定します

- ② アダプターリングの取付け

アダプターリングの赤点をカメラのシャッターダイヤルの B に合わせてかぶせ 正しく押し込んで固定します



★アダプターリングは2種類ありますからS型用(無印)S2、C型用(S2の記号付)指定のものをご使用下さい

③ シャッターダイヤル連動部の着脱

〈取外し方法〉装着時のシャッターダイヤル及び連動ブロックの数字は下表の何れかの組合わせを選び シャッターダイヤルの数値はボディ側の赤点に合わせます。又連動ブロックの数値はそのブロック上の指標に合わせます

シャッターダイヤル	1	$\frac{1}{2}$	$\frac{1}{4}$	$\frac{1}{8}$	$\frac{1}{5}$	$\frac{1}{30}$	$\frac{1}{60}$	$\frac{1}{125}$
連動ブロック	$\frac{1}{8}$	$\frac{1}{5}$	$\frac{1}{30}$	$\frac{1}{60}$	$\frac{1}{125}$	$\frac{1}{250}$	$\frac{1}{500}$	$\frac{1}{1000}$

例：シャッターダイヤルを $\frac{1}{8}$ に選んだ場合 連動ブロック側は $\frac{1}{8}$ ですが 連動ブロック側は取付けの都合上 すべて数字の下端に合わ



▲シャッターダイヤル側

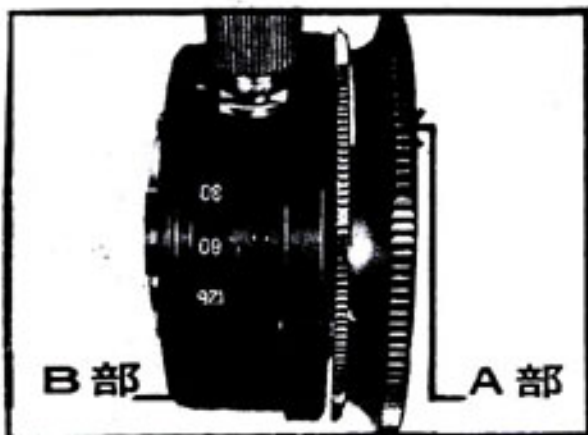
▲連動ブロック側

せてください〈左図参照〉 連動ブロックの赤点を上に向け B部を指でつまんでカメラ側のバヨネット部についている赤点に合わせて押しつけ バヨネットがしっかり入ってから左右にゆっくりと 少しまわじますと 連動ブロックのピンがシャッターダイヤルアダプターリングの穴に入り パチンと音がします ピンが穴に落ち込んだら全体を時計方面にまわすとバヨネットが かみ合い固定します

〈取外し方法〉

左図のA部を持ち 引張りながら反時計方向にまわして外します

注意：取外す時だけA部を持ってください。その他はいかなる場合もA部をもってまわさないようにしてください

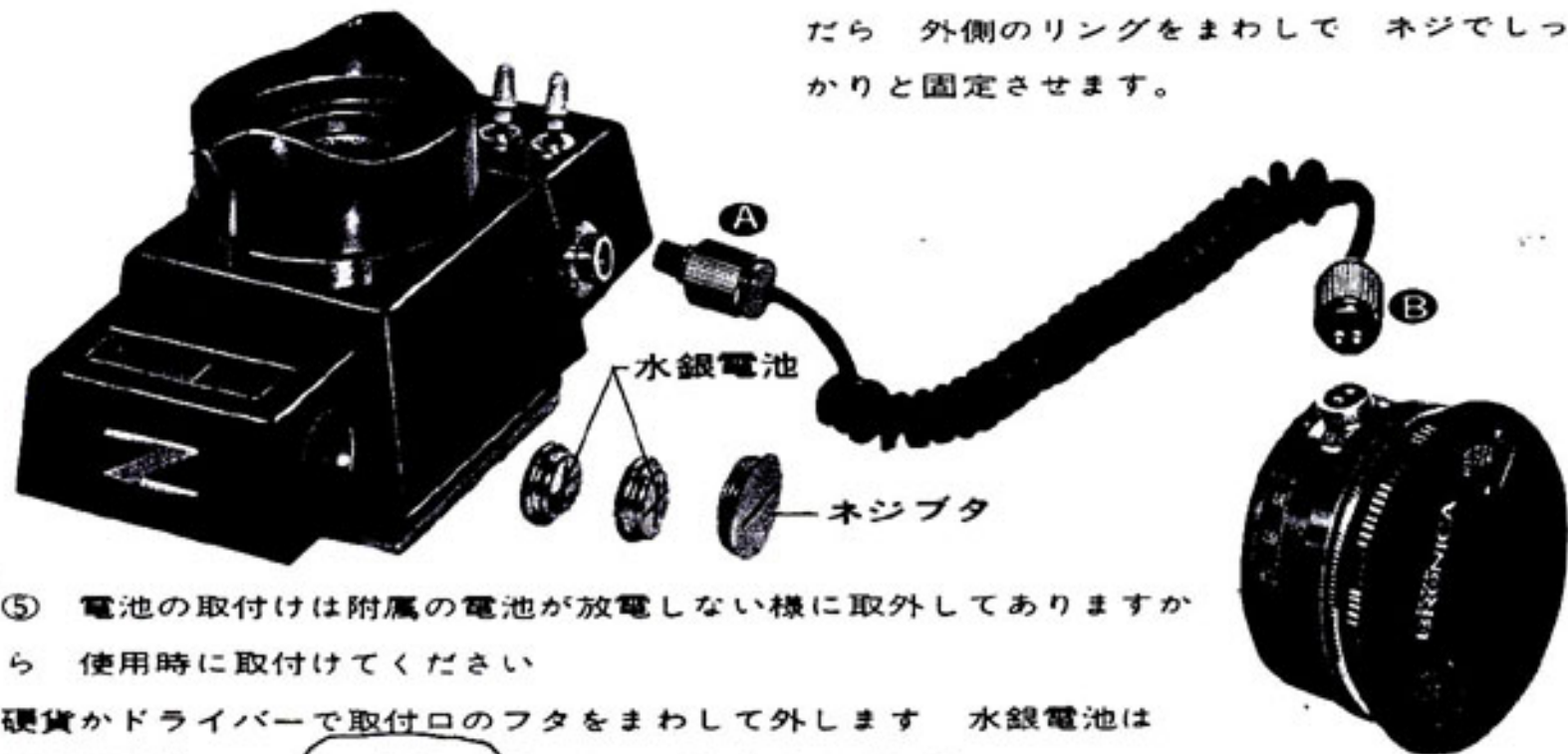


B部

A部

電池・接続コードの取付け

- ④ 接続コードの取付けはコードの両端にあるコネクターの **A** のコネクターはメーター側 **B** のコネクターは運動ブロック側に取り付けてください。コネクターのピンを合わせて差込んだら、外側のリングをまわしてネジでしっかりと固定させます。



- ⑤ 電池の取付けは付属の電池が放電しない様に取外してありますから、使用時に取付けてください。硬貨かドライバーで取付口のフタをまわして外します。水銀電池は ⊕ 側を手前にして 2ヶ挿入し、再びネジブタをしてください。

露出の測定方法

① ファイルムの感度をセットします

フィルムをカメラに装填した場合は必ず連動ブロックにあるフィルム感度のセッティングをまわし そのフィルムのASA 又はDINの指標に数字を合わせます(右図参照)

② M.A.NスイッチをONにする

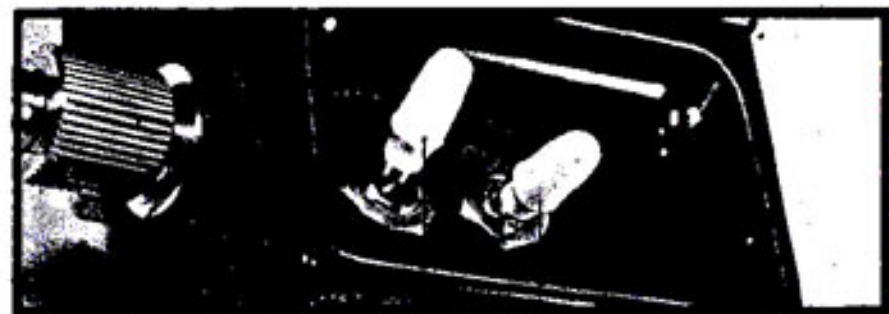
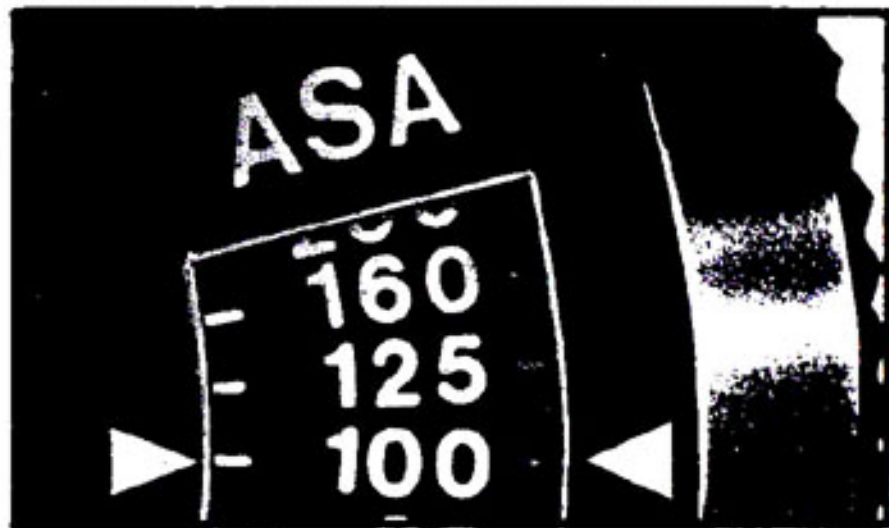
この状態で使用する場合は接眼遮光ゴムに目を密着するか 又 手 レンズキャップなどで覆って測光する必要があります 眼鏡ご使用の方や接眼部より目を離して測光する場合 外部メーターを使用する時には 逆入射光補償回路を使用し その度合を修正して測光する必要があります (逆入射光補償回路の使用方法は13頁参照)

③ カメラのピントを合わせます

④ 絞り値 又はシャッタースピードを合わせる

所望のシャッタースピード又は絞り値をセットしてください シャッタースピード優先に決める場合と 絞り値優先に決める二通りの方法が可能です

例:SSのフィルムを入れた場合ASA100に合わせる



MAIN スイッチ

CANCEL スイッチ

絞り値優先の場合の測光

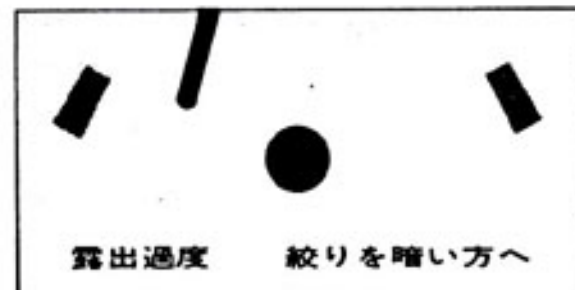
⑤ 絞り値優先の場合の測光

(A) ファインダー部の接眼遮光
ゴムに目を当てる

(B) 手動絞りボタンを押したまま
メーターの指針の動きを見ながら
シャッターダイヤルをまわして
メーターの指針を0位置（中央の
●印）に合わせる

(C) 手動絞りボタンを解除して
シャッターボタンを押して撮影する

(シャッタースピード優先の場合の測光)



⑥ シャッタースピード 優先の場合の測光

- (D) ファインダー部の接眼遮光ゴムに目を当てる
- (E) メーターの指針の動きを見ながら 手動絞りリングをまわしセットしてから手動絞りボタンを押す 注意：手動絞りボタンを押したまま絞りリングをまわしてはいけません
- (F) メーターの指針が●印より右にある場合は露出不足です 絞りを明るい方へまわしてください（左図参照）
- (G) メーターの指針が●印より左にある場合は露出過度です 絞りリングを暗くする方へまわしてください（左図参照）
- (H) メーターの指針が0位置に来るまで(F)～(G)の操作をくり返して調整してください（左図参照）
- (I) どの絞りに於ても指針が0位置に来ない時は 測定範囲外ですからシャッタースピードの撰択を変えて(D)～(H)の操作をくり返してください
- (J) 手動絞りボタンを解除してシャッターボタンを押し撮影します

逆入射光補償回路の使用法

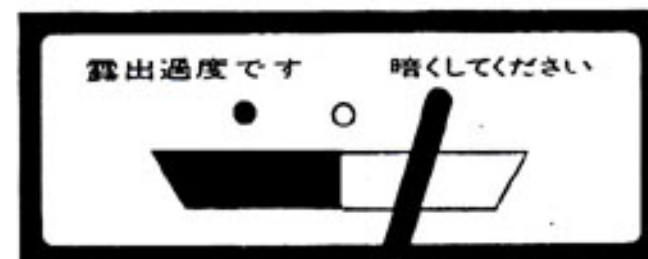
この装置は眼鏡ご使用の場合や接眼部より目を離して外部メーター指針で測定される方のみ必要です。

この装置は逆入射光の影響を接眼レンズ部の左右にある補償用CaSにより測光して自動的にこの影響を修正するようになっていますが 周辺光量が撮影する被写体の光量よりかなり強い場合は露出計のサイドにある逆入射光補償調整つまみを廻わしてセットする事により 調整範囲の拡大をする事が出来ます。

撮影する被写体や周辺の光量が著しく変化のない場合は一度調整しますと自動的に修正しますから そのまゝの状態で使用できます

〈使い方〉

- ① まづ MAINスイッチのみONにして接眼部5cmぐらいの高さに顔を近づけて 逆入射光が入らないように 手・レンズキャップ等で接眼部を覆って外部メーターの指針を見ます この場合のカメラレンズは被写体の方に向けた状態です
- ② この状態で外部メーターの指針が中央の0位置にくるように シャッターダイヤル 又は 絞り値を調整してください



(A) メーター指針が赤い方であれば露出不足ですから シャッタースピードは遅い方又絞り値は数の少ない方(明るくする)にまわして調整します

(B) メーターの指針が白い方であれば露出過度です シャッタースピードは早い方又絞り値は数の多い方(暗くする)にまわして調整します

③ 接眼部の手の覆いを取除いて(顔の位置は変えない)メーターの指針の位置が②の時の位置Oから動いたならばCANCELスイッチをCHにします

④ 接眼部を手 レンズキャップ等で覆ったりはづしたりした時に指針の位置が変わらない様に補償調整ツマミをまわしてメーターの指針をOに合わせます

⑤ 続いて11頁の(B)~(E)の操作に入ります(補償回路の調整をする場合の被写体はなるべく光量の変化の少ないものを選ぶと調整し易くなります)又撮影する場所が著しく異なる場合には 調整をし直すことによって正確な露出を求める事ができます

電池のチェックと交換

電池が消耗していると正しい測定が得られませんのでご使用の際は電池のチェックをして下さい。

- ① 電池のチェックは撮影レンズ 及び 接眼部を完全に遮光し シャッターダイヤルを1/30秒にセットしてMAINスイッチをONにします この時 電池が消耗している場合は 外部メーターの針が 赤点より右側になりますので電池の交換をしなければなりません

露出計の使用が終わったら電池の無駄な消耗を防ぐ為スイッチをOFFにして下さい。

- ② 電池の水銀電池をご使用ください

★ 東 芝……TH-MC(Y) 1.34V×2
★ ナショナル……M-D " "
★ Mallory…… DM-625

★ General…… 625

- ③ 電池の交換は9頁⑤項の通り行います
フィルターを使用する場合
レンズにフィルターを取付けたまま測光でき
フィルター倍数に応じた適正露出を測定
できます

MR-9 東芝電. 14

BRONICA サービスセンター・営業所

東京	東京都千代田区神田多町2-4	TEL	東京(254)3231代
大阪	大阪市南区順慶町通り3-51(鳥ノ内ビル)	TEL	大阪(271)1458代
名古屋	名古屋市中区丸の内1丁目9-6(桜井ビル)	TEL	名古屋(201)3034代
福岡	福岡市東区2丁目3-40(富永ビル)	TEL	福岡(75)3208
仙台	仙台市東四番町31番地(仙南ビル)	TEL	仙台(25)3908
札幌	札幌市南四条西7丁目(三舟ビル)	TEL	札幌(51)5866

発売元 **プロニカ商事株式会社**

製造元 **ゼンザプロニカ工業株式会社**